

## カーボン・オフセットのご報告。 カルネコ株式会社

2021年8月1日

カルネコ株式会社（代表取締役社長：松元英俊、以下「カルネコ」）は、環境貢献と CO2 削減を目的に、昨年に引き続き 2020 年度の POP ツールと配送用外装材の製造時に排出する CO2 全量のカーボン・オフセットを実施いたしましたので、ご報告いたします。

カルネコは、今後も、「環境に負荷を与えない販促ツールの調達とサービス」および「SDGs の持続可能な開発目標に貢献する」趣旨に基づき、EVI の活動を通じて地域や環境課題の改善に積極的に貢献してまいります。

### 2020 年度カルネコ株式会社カーボン・オフセットの概要

排出量 : POP ツール 720t-CO2 及び配送用外装材 194t-CO2  
合計 914t-CO2

カーボン・オフセット量：合計 914t-CO2

対象期間：2020 年 4 月～2021 年 3 月（2020 年度）

\*カーボン・オフセットの対象の詳細や、算出方法等についてはカーボン・オフセットの取組に係る信頼性構築のための情報提供ガイドラインに基づき、ホームページに公開しております。※排出量算定協力(株)ウェイストボックス

以上

上記に関するお問合せはカルネコ株式会社  
管理部 環境 tel: 03-5220-6234

### 【事業の概要】

カルネコは、販促物を通して小売・卸・メーカー・消費者がともに喜べる「サービス」を提供し、お客様の健やかな生活に貢献したいと考えています。カルネコが提供するサービスは、販促物を「必要な時」「必要な量」「必要な場所」へお届けできる仕組みを企業様にご提供するサービスです。これにより、メーカーでの長年の課題であった「在庫を持たない効率的なオペレーション」と「自由自在のプロモーション」の両立を可能にしました。

### 【環境への取り組み】

カルネコは、森林事業者や自治体と企業および消費者を結ぶ環境貢献プラットフォーム「EVI (Eco Value Interchange) 推進協議会」を運営しています。EVI 推進協議会では、販売が停滞している森林クレジットを活用、購入していただくプランやプロモーションを自治体や企業に提案し、地域の活性化に貢献できる事例を数多く作っています。また、それらの事例を紹介するために、イベントや SNS を通じて情報の発信を行っています。

### 【J-クレジット活用手法】

カルネコが提供するサービスは、販促物の無駄を出さないことから環境に配慮した仕組みになっています。さらに、全ての販促物 (POP や外装材) の製造段階で発生する CO2 全量を、森林由来のクレジット等でカーボン・オフセットしています。事業で排出する CO2 をオフセットして森林を支援する仕組みを、森林事業者と共に創り、他企業や自治体にも積極的に紹介しています。

「POPツール類及び外装材の製造に伴う  
CO<sub>2</sub>排出量のカーボン・オフセット」  
に関する実施報告書

令和3年7月14日

株式会社ウェイストボックス



# 1. 実施報告

## 1. 1 実施の対象

表 1.1 に示す対象物において、カーボン・オフセットを行った。

表 1.1 対象物

対象物名称	POPツール類及び外装材の製造に伴うCO2排出量
対象の概要	2020年度にカルネコ株式会社が、サービスの提供に伴って製造または仕入れを行なった、POPツール類及び外装材の製造に伴うCO2排出量
オフセット対象とする活動	<p>2020年度に製造または仕入れを行なったPOPツール類及び外装材の製造に伴うCO2排出量のうち、カルネコ株式会社が管理・把握出来る以下の排出源を、オフセットの対象活動として設定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・POPツール類の原材料調達及び生産に係るCO2排出量 (720t-CO2)             <ul style="list-style-type: none"> <li>-POPツール類を構成する原材料の調達に伴うCO2排出量</li> <li>-同上の輸送 (500km 程度の輸送距離と仮定) に伴うCO2排出量</li> <li>-POPツール類の印刷・組立等に伴うCO2排出量</li> </ul> </li> <li>(工場で使用する電力、化石燃料、廃棄物、廃水等、PS版、インキ)</li> <li>※工場等で使用した消費電力全て (396MWh) については、再エネクレジットの取得・無効化を行い、再エネ電力を調達したものとした。</li> <li>・外装材の製造に伴うCO2排出量 (194t-CO2)</li> </ul> <p>排出量合計：914 t-CO2 (小数点以下切上し合算)</p> <p>※但し、顧客よりの預かり品などについては、一部対象から外している。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>・パーツ単位での原料×原料単位の排出係数×使用量×総数              ・工場単位での加工エネルギー×製造総数/工場での製造総数×排出係数              ※把握困難なため、工場全体のエネルギー量から算出</p> <p>Copyright 2016 warbook, Inc. Ver.1.0 3ページ</p> </div>
対象とする期間、人数、距離等の情報	バウンダリ、条件設定等の詳細は別途、エクセルでのCO2排出量算定報告書に記載するが、出荷数量の詳細は非公表のため、サマリーのみ記載する。

### カーボン・オフセットとは

市民、企業、NPO/NGO、自治体、政府等の社会の構成員が、自らの温室効果ガスの排出量を認識し、主体的にこれを削減する努力を行うとともに、削減が困難な部分の排出量について、他の場所で実現した温室効果ガスの排出削減・吸収量等（以下「クレジット」という）を購入すること又は他の場所で排出削減・吸収を実現するプロジェクトや活動を実施すること等により、その排出量の全部又は一部を埋め合わせることをいう。

（出典：環境省「我が国におけるカーボン・オフセットのあり方について（指針）」）

世界の温室効果ガスの排出量は年々増加しており、今後も増大することが予想されています。こうした温室効果ガスの影響を最小限に抑えるためには、早急に地球全体の温室効果ガス排出量を大幅に削減し、その濃度を安定させる必要があります。

気候変動に関する政府間パネル（IPCC）最新報告書（AR5 第五次評価報告書）では、“気候変動を抑制する場合には、GHGの排出を大幅かつ持続的に削減する必要があり、適応と併せて実施することで、気候変動のリスクの抑制が可能となるだろう”としています。

（詳細は、「環境省 STOP THE 温暖化」パンフレットをご確認ください）



プロジェクト情報	プロジェクト名	カルネコ株式会社提供資料(2021年7月提供) 【2020年度カルネコカーボンオフセット用無効化リスト】に記載の通りであることを確認した。
	プロジェクト実施国・実施地域	カルネコ株式会社提供資料(2021年7月提供) 【2020年度カルネコカーボンオフセット用無効化リスト】に記載の通りであることを確認した。
	プロジェクトタイプ	吸収系
販売価格・その他支払いに関する事項	商品・サービス当たりの販売価格	料金表に別途記載
	消費者の価格負担(料金上乗せ)有無	販売者負担の為、上乗せはなし
	その他支払いに関する事項	特になし

※カーボン・オフセットの取組に係る信頼性構築のための情報提供ガイドライン(Ver.1.0)

表 1.2 カーボン・オフセット実施状況②(電力)

クレジットタイプの説明	クレジットの種類	Jクレジット
	認証プログラム名称	Jクレジット制度
	シリアルナンバー	JCL-400-000-004-815-539~ JCL-400-000-004-815-744(206t)
クレジットの調達期限 通知方法	クレジットの調達状況・無効化方法	・発行済み ・J-クレジット登録簿システム上で、無効化手続き
	クレジット調達期限・通知方法・頻度	2020年度実施分として、カルネコ株式会社管理口座において、無効化手続きを行なった。 Jクレジット調達分 : 206t
プロジェクト情報	プロジェクト名	山形県における太陽光発電設備の導入によるCO2削減事業
	プロジェクト承認番号	P41
	プロジェクト実施国・実施地域	日本・山形県
	プロジェクトタイプ	削減系
販売価格・その他支払いに関する事項	商品・サービス当たりの販売価格	料金表に別途記載
	消費者の価格負担(料金上乗せ)有無	販売者負担の為、上乗せはなし
	その他支払いに関する事項	特になし

※カーボン・オフセットの取組に係る信頼性構築のための情報提供ガイドライン(Ver.1.0)

【2020年度カルネコカーボンオフセット用無効化リスト】

【2020年度用 無効化クレジットリスト】		トン数	特定番号	無効化日
	掲載事業者名（略称）	無効化		
岐阜県	岐阜県中津川市苗木産区による間伐促進型森林吸収プロジェクト	10	JRM JP-200-000-000-129-426 ~ JP-200-000-000-129-435	6/21
大分県	日田市上津江町間伐推進プロジェクト	1	JRM JP-200-000-000-335-381 ~ JP-200-000-000-335-381	6/21
愛媛県	愛媛県伊予森林組合における間伐促進型森林吸収プロジェクト	10	JRM JP-200-000-000-331-261 ~ JP-200-000-000-331-270	6/21
愛知県	一宮市市有林における森林吸収量販売プロジェクト	10	JRM JP-200-000-000-520-821 ~ JP-200-000-000-520-830	6/21
愛媛県	久万広域森林組合による久万高原町における間伐促進型森林吸収プロジェクト	10	JRM JP-200-000-000-084-285 ~ JP-200-000-000-084-294	6/21
京都府	日本の自然遺産一志丹波の名水と熊野の森を守るCO2森林吸収プロジェクト	10	JRM JP-200-000-000-566-249 ~ JP-200-000-000-566-258	6/21
佐賀県	佐賀県有林間伐促進プロジェクト～「多良岳・有明海の森」間伐促進プロジェクト	10	JRM JP-200-000-000-284-782 ~ JP-200-000-000-284-791	6/21
宮城県	宮城県林業公社有林における間伐促進による震災復興と森林吸収J-VERプロジェクト	3	JRM JP-200-000-000-348-429 ~ JP-200-000-000-348-431	6/21
山形県	山形県における太陽光発電設備の導入によるCO2削減事業	593	ERL JCL-400-000-004-815-745 ~ JCL-400-000-004-816-337	6/21
岐阜県	岐阜県 東白川村森林組合の「FSC認証林」間伐プロジェクト	2	JRM JP-200-000-000-069-997 ~ JP-200-000-000-069-998	6/21
岐阜県	岐阜県 東白川村森林組合の「FSC認証林」間伐プロジェクト	2	JRM JP-200-000-000-070-799 ~ JP-200-000-000-070-800	6/21
岐阜県	岐阜県 東白川村森林組合の「FSC認証林」間伐プロジェクト	6	JRM JP-200-000-000-071-571 ~ JP-200-000-000-071-576	6/21
岐阜県	岐阜県森林公社分収造林地間伐促進プロジェクト～ぎふ清流の園づくり	10	JRM JP-200-000-000-541-150 ~ JP-200-000-000-541-159	6/21
鹿児島県	増産産業（株）社有林J-VERプロジェクト（鹿児島県薩摩川内市藤川地区）	1	JRM JP-200-000-000-336-044 ~ JP-200-000-000-336-044	6/21
滋賀県	滋賀県金勝生産森林組合森林管理プロジェクト	3	FM JC-400-000-001-997-112 ~ JC-400-000-001-997-114	6/21
熊本県	熊本県県有林による間伐を用いた温室効果ガス吸収事業	77	JRM JP-200-000-000-093-005 ~ JP-200-000-000-093-081	6/21
熊本県	熊本県小国町間伐推進プロジェクト	6	JRM JP-200-000-000-130-143 ~ JP-200-000-000-130-148	6/21
愛媛県	西予市地域活性化・循環型社会づくりと連動した森林整備（間伐促進）	1	JRM JP-200-000-000-444-160 ~ JP-200-000-000-444-160	6/21
長野県	長野県根羽村森林組合による間伐事業を用いた温室効果ガス吸収プロジェクト	10	FM JC-400-000-001-97-4-480 ~ JC-400-000-001-97-4-489	6/21
兵庫県	兵庫県養父市市有林森林管理プロジェクト	1	JRM JP-200-000-000-371-633 ~ JP-200-000-000-371-633	6/21
高知県	高知県木質資源エネルギー活用事業B	1	JVR JP-200-000-000-253-827 ~ JP-200-000-000-253-827	6/21
高知県	高知県大豊町ゆとりすとの森間伐推進プロジェクト	1	KRM KOC-200-000-000-083-574 ~ KOC-200-000-000-083-574	6/21
鳥取県	鳥取県県有林J-VERプロジェクト	10	JVR JP-200-000-000-333-961 ~ JP-200-000-000-333-970	6/21
鳥取県	鳥取県日野郡日南町における間伐促進によるCO2吸収量の増大プロジェクト	1	JRM JP-200-000-000-395-815 ~ JP-200-000-000-395-815	6/21
鳥取県	鳥取県日南町森林組合による間伐促進J-VERプロジェクト	1	JRM JP-200-000-000-600-218 ~ JP-200-000-000-600-218	6/21
鳥取県	鳥取県旧佐治村地域における森林吸収プロジェクト「五しの里の森づくり」	1	JRM JP-200-000-000-563-862 ~ JP-200-000-000-563-862	6/21
鳥取県	鳥取県芦津川産区による森林整備活動を用いた温室効果ガス排出削減事業	10	JRM JP-200-000-000-282-856 ~ JP-200-000-000-282-865	6/21
鳥取県	鳥取県森林公社における間伐促進型プロジェクト～大山の森 森林吸収プロジェクト	10	JRM JP-200-000-000-139-976 ~ JP-200-000-000-139-985	6/21
	小計1	811		
岩手県	森林林業日本一を目指す住田町の間伐プロジェクト	10	JRM JP-200-000-000-471-018 ~ JP-200-000-000-471-027	6/21
宮城県	登米市市有林間伐促進森林吸収プロジェクト	3	JRM JP-200-000-000-441-077 ~ JP-200-000-000-441-079	2021/7/5
茨城県	茨城県石岡市森林かざりプロジェクト協議会による間伐促進型プロジェクト	10	JRM JP-200-000-000-525-320 ~ JP-200-000-000-525-329	6/7
富山県	富山市と森林組合による間伐促進型森づくり事業～「森のチカラ」富山県	10	JRM JP-200-000-000-570-497 ~ JP-200-000-000-570-506	6/14
滋賀県	滋賀県金勝生産森林組合森林管理プロジェクト	10	FM JP-400-000-003-738-920 ~ JP-400-000-003-738-929	6/28
兵庫県	兵庫県養父市市有林森林管理プロジェクト	10	JRM JP-200-000-000-372-068 ~ JP-200-000-000-372-077	6/14
鳥取県	鳥取県日南町森林組合による間伐促進J-VERプロジェクト（未来につなぐ）	10	JRM JP-200-000-000-600-343 ~ JP-200-000-000-600-352	6/14
鳥取県	鳥取県日野郡日南町における間伐促進によるCO2吸収量の増大プロジェクト	10	JRM JP-200-000-000-397-875 ~ JP-200-000-000-397-884	6/14
岡山県	津山市「クレジット制度活用事業」	10	FM JP-400-000-000-632-752 ~ JP-400-000-000-632-761	6/28
長崎県	長崎県林業公社 間伐促進エコマテリアル創出プロジェクト	20	FM JP-400-000-000-703-045 ~ JP-400-000-000-703-064	6/28
	小計2	103		
	無効化合計	914		

**【基礎データ】**

項目	名称	備考
基礎情報	会社名	カルネコ株式会社
	住所	〒100-0004 東京都千代田区大手町1丁目6-1 大手町ビルヂング 401 区
	電話番号	Tel:03-5220-6234(代表) Fax:03-5220-6264
	担当者情報	菅谷 健夫
	メールアドレス	t_sugaya@calneco.co.jp
	w e b サイト	<a href="https://info.calneco.jp/">https://info.calneco.jp/</a>
	環境への取組	■環境貢献事業(オフセット・クレジット流通のプラットフォームの開設)EVI(Eco Value Interchange) の活動業務 ■環境貢献活動 販促物調達……販促物製造時に排出するCO2を森林由来等のクレジットでカーボン・オフセット



(対象の排出量)

POPツール類 720t-CO2 (切り上げ)

POP全体	項目	単位	原単位 [kg-CO2/単位量]	小計 量	CO2[t-CO2]
	ツール原材料	kg	1.2	347069.056	565.8639221
	エネルギー使用	-	-	0	137.7733404
	パーツ類輸送	tkm	0.2855	42886.387	12.24406349
	インク PS版輸送	tkm	0.2855	13891.6411	3.966063543
	合計			-	719.8473895
	ツール数量	5,909,350			<b>720</b>

外装材 194 t-CO2 (切り上げ)

外装箱全体	出庫数		製品m <sup>2</sup> 総合計	CO2[t-CO2]
	635,952	0.0004858	398954.364	193.81203
				<b>194</b>

2020年度排出量 合計 914t-CO2

(クレジットの調達状況)

項目	クレジット量	備考
J-クレジット調達分	646 t-CO2	
J-VER クレジット調達分	268 t-CO2	
J-クレジット調達分 (再生エネルギー)	(396MWh)	電力は再エネ電力の調達したものとみなす。
必要量	914 t-CO2	

2020年度調達量 合計 914t-CO2

(2019年度使用量 合計 971 t-CO2)

※次年度への持越なし